

JRA-VAN 競馬ソフト作成体験教室

・開発環境を整備する

当コーナーでは、「JRA-VAN Data Lab.」サービス対応の競馬ソフトを作成していくための環境設定を解説していきます。

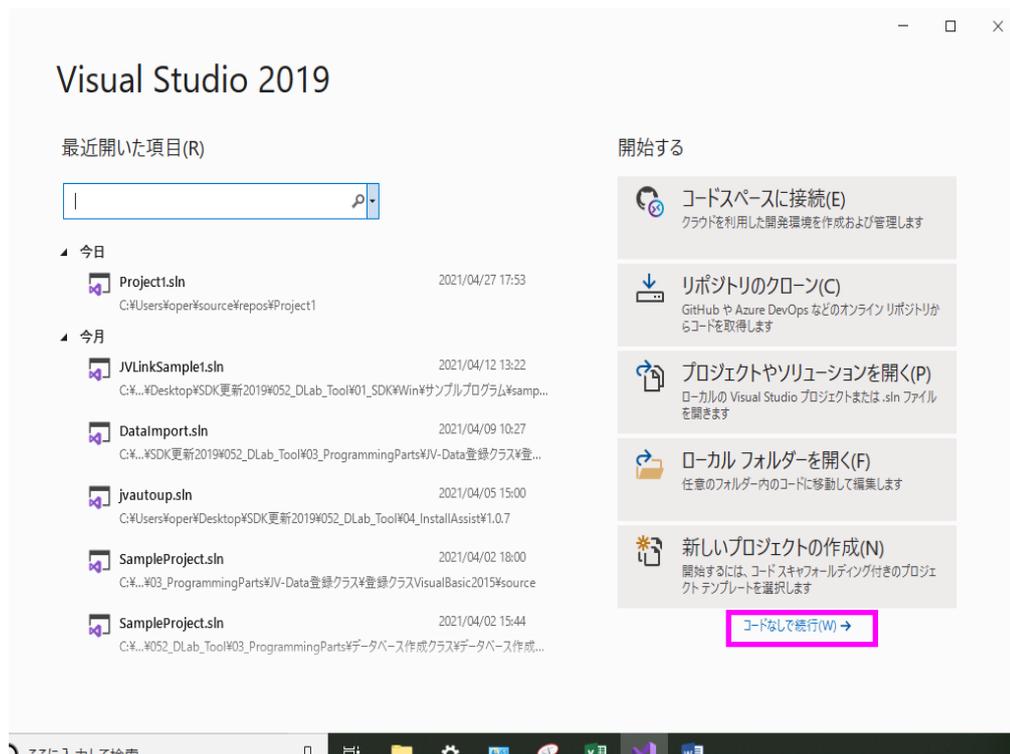
ここでは、「JV-Link」を Microsoft Visual Basic 2019 Professional Edition(以下 VB 2019 と省略)で使えるように環境設定を行ないます。

【 今回の目標 】

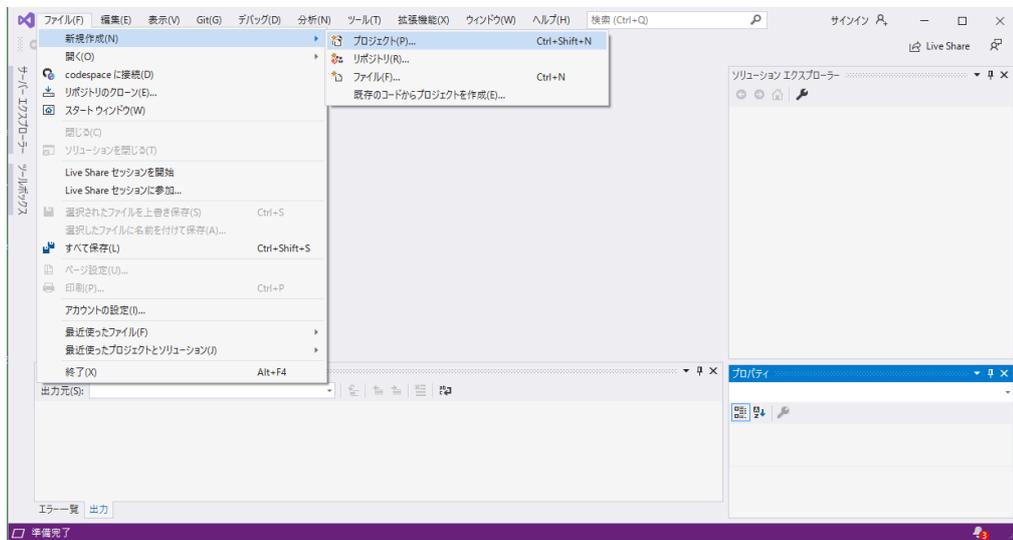
プロジェクトで JV-Link を使用できるように設定する。

【 やってみよう 】

- ① VB 2019 を起動し、「コードなしで続行 (W)」のリンクをクリックします。



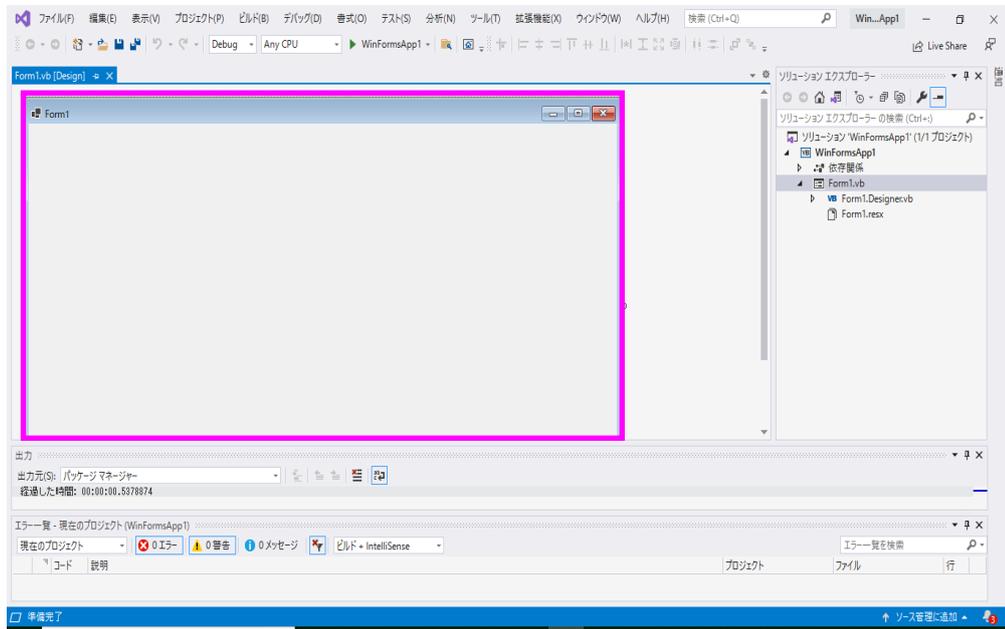
メニューバーの「ファイル」→「新規作成」→「プロジェクト」を選択します。



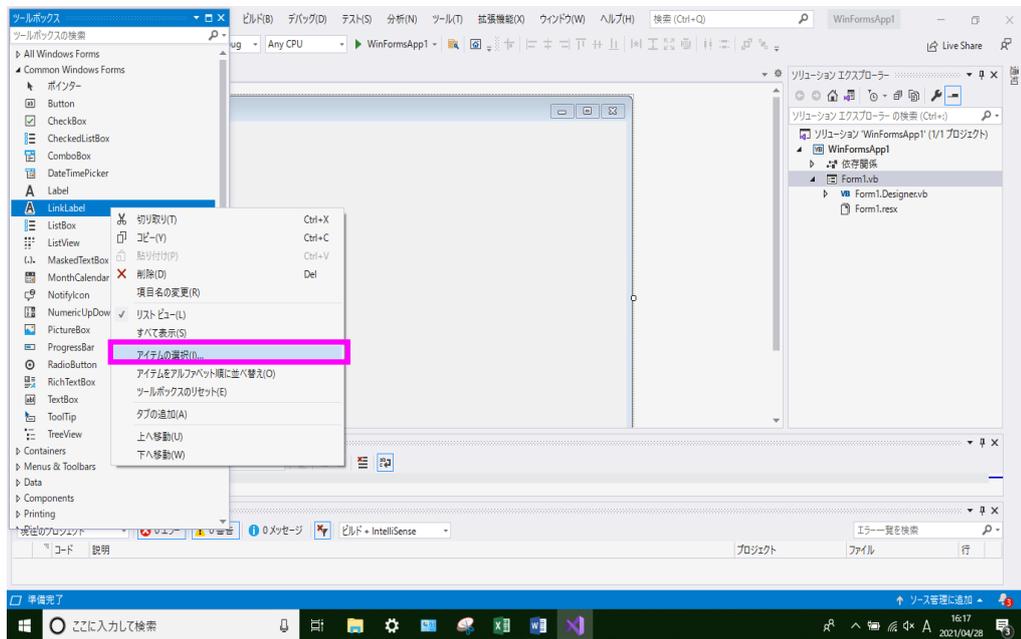
- ② プロジェクトのテンプレートから「Windows フォーム アプリケーション (.NET Framework)」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



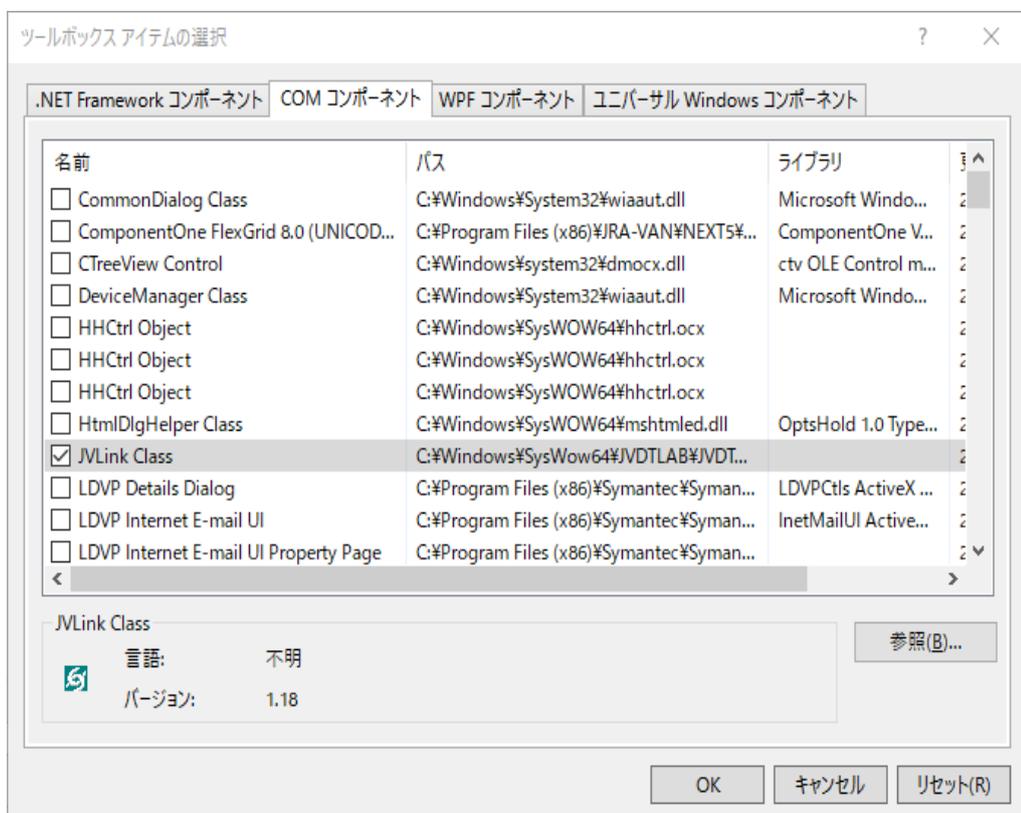
③ 新規のフォームが表示されます。



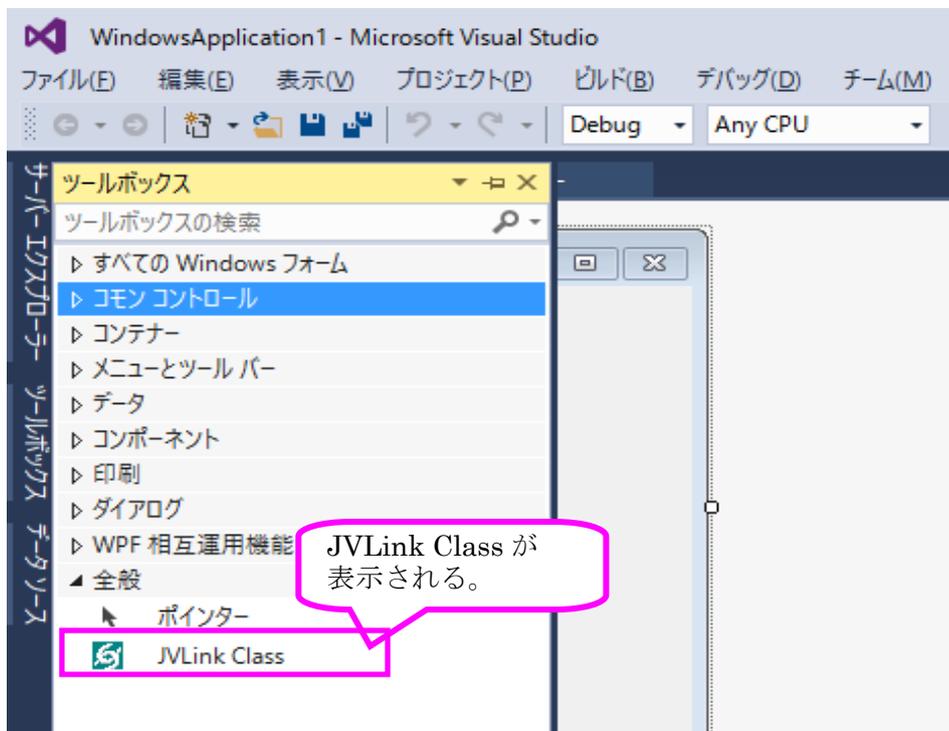
- ④ ツールボックスのコンテナ上で右クリックしてポップアップメニューを表示し、「アイテムの選択」を選択します。



- ⑤ COM コンポーネントページの「JVLink Class」にチェックを入れて「OK」をクリックします。



- ⑥ コンポーネントの中に、JVLink Class が表示されたことを確認します。



【 確認しよう 】

フォームに JV-Link を貼り付けることができれば、今回の目標は達成です。

※JV-Link が VisualStudio の背後に隠れてしまいますが、
使用に問題はありませんのでそのままお使いください。

